

# 地域の課題を教育資源に



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内学校運営協議会委員数)	地域学校協働本部
千葉県立 飯高特別支援学校	飯高特別支援学校学校運営協議会 平成31年4月1日 設置	地域学校協働活動推進員 0名 0名 地域コーディネーター 3名 3名	地域学校協働本部



## 取組の背景及び目標や目指す姿

### 背景

飯高地区では、過疎化や高齢化が社会的な課題としてあげられる。そこで、地域のために学校として何が出来るかを検討し、地域の活性化につながるような地域の美化活動や高齢者福祉活動、地域防災活動、地域広報活動等の取組を行ってきた。  
また、本校児童生徒については、教職員や友達などの一定の人間関係に固定化してしまう懸念があり、地域の多様な人々と関わり、活動への評価を得ることで自己有用感・自己肯定感の向上を図ることを大きなねらいとして取組を進めている。

### 目標や目指す姿(学校)

「地域に学び、自分の良さを伸ばし、心豊かにたくましく生きる児童生徒の育成」

### 目標や目指す姿(地域)

地域の活性化や学校を核とした地域のつながりの強化



## 飯高特別支援学校学校運営協議会 の特徴

### 委員の立場や属性等

- 有識者(元特別支援学校長)       市教育委員会
- 小・中・高等学校長               社会福祉協議会会長
- 地域(区長会長、史跡を守る会会長)  本校校長
- 高齢者施設長・就労センター長 など、計 **14** 名で構成
- 保護者代表                              年間平均 **4** 回程度開催

### 効果的な運営の工夫

協議の充実を図るため、コミュニティ・スクール導入時から、テーマ毎に「学校運営」「学校支援」「地域連携」の3つの部会を設けている。また、毎年、全体の共通テーマも設け、熟議を行っている。  
協議会当日の協議の柱は、委員に事前に郵送し、内容について見通しをもてるようにしている。また、できる限り多くの方からの意見やアイデアを吸い上げるため、協議方法の工夫として、付箋を使って意見を整理・集約する手法等も取り入れながら、全委員が主体的に協議会へ参加できるようにしている。協議会の最後には各部会の発表を行い、全体で内容を共有している。



## 特徴的な取組と成果・効果

### 取組

#### 学校運営協議会

3つの部会で、地域の教育資源や人材の活用、地域交流の充実等について意見を出し合った。  
また、県教委から指定を受けた「命の大切さを考える防災教育公開事業」の推進のため、「自分の命は自分で守る防災教育と地域と連携した防災活動」を全体共通テーマとしてを設定し、熟議を重ねた。



学校運営協議会の様子

#### 地域学校協働活動

12月実施の学校公開では、自主防災会や地域住民、学校運営協議会委員、近隣小・中・高等学校、PTA役員、消防署、市防災担当、講師の大学教授等の協働による避難所開設訓練や児童生徒の避難訓練、避難所生活体験、防災体験を行った。



避難所開設訓練の様子

### 「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

#### 【課題解決の実現に向けた学校運営協議会委員の選出】

地域美化や高齢者福祉、地域防災、地域広報等の地域の課題を教育資源として活用し、児童生徒の自己有用感・自己肯定感を高めていくという観点に即した委員の人選を大切にしている。

#### 【コミュニティ・カレンダーの活用】

本校の行事と併せて、地域10団体の行事や地域学校協働活動等が掲載されている「飯高コミュニティ・カレンダー」を年4回作成して、保護者や地域住民、市町教育委員会、学区内小中学校等に配布し、広く周知している。

### 成果・効果

#### <児童生徒>

◆地域美化活動や高齢者福祉活動、飯高の良さを社会に伝える広報活動等の地域貢献活動により、認められ、褒められ、感謝の言葉を掛けられることで、自己有用感、自己肯定感が高まった。  
◆地域や他者を身近に捉える意識が育ち、「自分たちで飯高地区を良くしていこう」という気持ちで、主体的に活動に取り組む姿が見られるようになった。

#### <地域>

◆地域の課題を教育資源とすることで、地域課題改善の一助となっている。  
◆開校以来、継続して、様々な方法で地域に学校の取組を伝えたり、協働して活動に取り組む機会を設けたりしてきたことで、本校への理解が広がり、深まった。地域にとって、特別支援学校が身近な存在になってきており、共生社会の形成に向けての一助となっている。

#### [指標]

学校は地域と共にある学校をめざし、学校運営協議会を活用し、地域と連携して教育活動を行っていると思いませんか。

R2	93 %	-2 %
R3	100 %	+7 %

学校評価アンケートより  
(前年度比:赤字)

#### <教職員>

◆「地域の課題を教育資源に」という一貫した考えを共有することで、同じベクトルで教育活動に取り組む教職員集団の形成に寄与している。  
◆学校教育目標等の達成のために、コミュニティ・スクールが有効な手段となるという意識が育ってきている。